

自分で気がつき自分でやれたね

< 4・5 歳児 > プログラム 2

目的 遊びを通して、「楽しいね」「気持ちがいいね」「だから、しっかり しよう」という子どもからの自発的な思いを大切にしながら、生活習慣の自立を図っていく。

気づく

パネルシアターや指人形で遊んで、からだのことを知ろう

体に関する話を聞く。(パネルシアター、紙芝居・指人形など)
パネルシアターや人形を動かして遊ぶ。

「留意点」

- ・子どもたちが親しみやすい教材からからだに関心を持たせていく。

「歯を磨かないとばい菌がくるね。」「しっかり磨こうな。」



どうすれば、上手にうがいができるかな。

広げる深める

手洗いの手作り表示を作ろう

生活の見直し(話し合い)をする。
先生と一緒に表示を作る。
(保育室や手洗い場に貼る)

「留意点」

- ・家庭にも十分に伝え、協力を得るようにする。
- ・子どもたちの思いやつぶやきに耳を傾け、子どもや保護者と一緒に生活環境を作っていく。

せっけんマンの、あわあわ光線で手がきれいになったよ。



手洗い場に手作り表示

きれいに手が洗えているかな。小さい組さんにもわかるように表示を作ろう。(5歳児)

きれいになると気持ちがいいね。

計画し、実践する

生活カードを作ろう

点検項目を先生といっしょに考える。家でもできるよう保護者とも話し合う。
カードを使って先生と一緒に生活をふりかえろう。
カードを使っておうちの人と一緒に生活をふりかえろう。

「留意点」

- ・家庭でもできる生活カードにする。
- ・生活習慣がより確かなものとなるように、子どもの思いやつぶやきを尊重した生活カードを作る。
- ・うまく保護者と共にふりかえりができなかった家庭への支援を行う。

上手にできるようになったね。ここにシールを貼ろうね。(保護者)

見て 見て 上手にできるでしょ。

